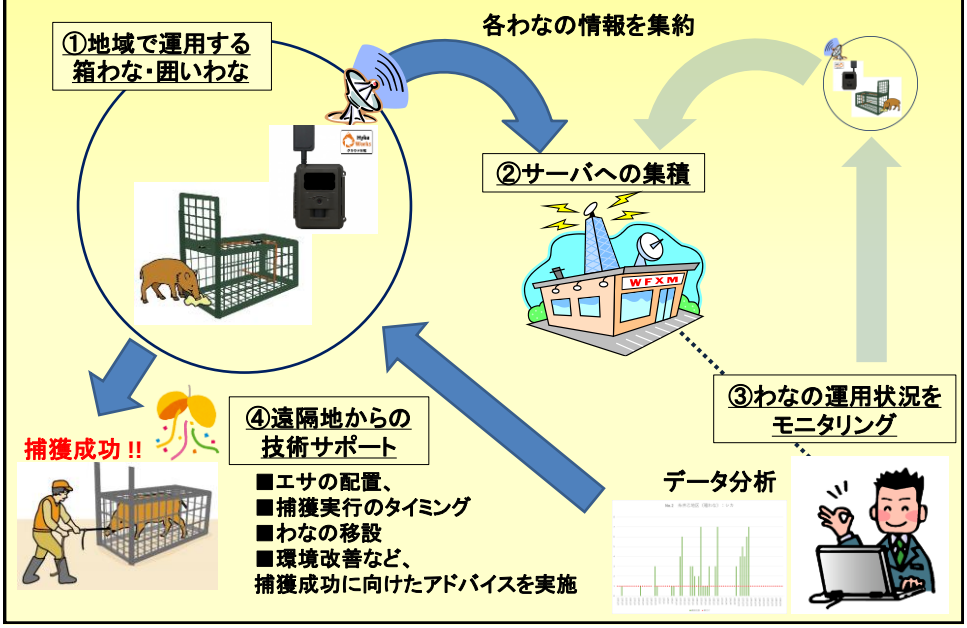
令和3年度　ICTを活用した集落ぐるみの有害鳥獣捕獲モデル事業
成果報告会

地域ぐるみで行うシカ、イノシシ捕獲の遠隔サポートの効果について

（株）野生鳥獣対策連携センター

1

わな捕獲の遠隔サポート体制の構築



2

（1）指導実施計画案の策定

■ 関係者へのヒアリング＆現地踏査の実施

地区番号	集落名	ヒアリング＆現地踏査実施日	開催時刻
No.1	神杉21区	6月16日（水）	11：00～12：00
No.2	布野町戸河内下		15:30～16:30
No.3	三若	6月17日（木）	11：00～12：00
No.4	甲奴町宇賀		15:30～16:30

3

【関係者へのヒアリング】

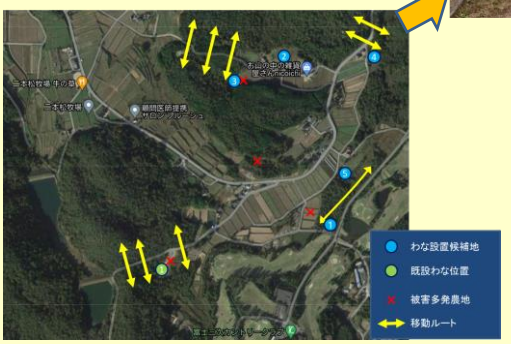
■餌付けによる誘引状況
■地域の被害、出没状況
■過去の捕獲状況

事前に提供いただいた設置候補地の映像に基づき、
関係者からのヒアリングと現地確認を実施

4

【現地踏査】

■わな設置候補地の確認
■エサの被食状況について
■候補地周辺の痕跡
■獣道の走行



事前に提案したわな設置候補地を踏査し、獲物の痕跡を確認したり、なぜそこで捕獲できると考えたか解説した

5

■ 指導実施計画案の作成

わな番号	集落名	わな種類	主な捕獲対象獣種	計画案
No.1	神杉21区	箱わな	イノシシ	ゴルフ場の縁の緑地帯で誘引に成功していたため、誘引を継続して捕獲を達成する方針を決めた。
No.2			シカ イノシシ	ため池横の草地にシカの痕跡が多かったため、第二の捕獲候補地として提案した。
No.3	三若	箱わな	イノシシ	当初の候補地は、集落柵の里側だったため、山側に候補地を設定した。
No.4			シカ	事前の餌付けにより、シカの誘引が確認されたため、候補地とした。

6

わな番号	集落名	わな種類	主な捕獲対象獣種	計画案
No.5	戸河内下	箱わな	イノシシ	事前の餌付けで十分な誘引が確認されていたこと、確認時にイノシシが捕獲されていたことから、そのまま捕獲を継続する方針とした。
No.6			イノシシ	わな設置前の誘引状況から、捕獲可能性は高いと考えられた。イノシシがより警戒を解きやすいように、わなの位置を少し下げて捕獲を続けることを提案した。
No.7	甲奴町宇賀	箱わな	イノシシ	事前の餌付けでイノシシの誘引に成功していたため、草丈が伸びる前に捕獲を実行する方針を提示した。また、並行して、捕獲後のわな移設候補地を探しておくことを提案した。

7

（2）鳥獣害対策学習会の実施

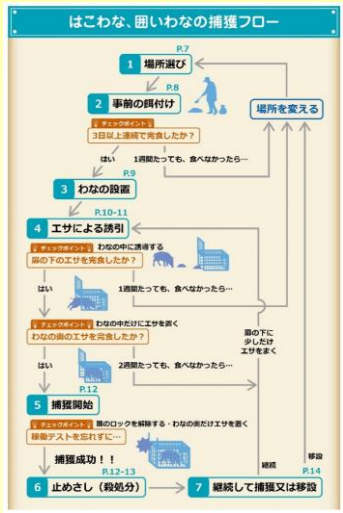
地区番号	集落名	ヒアリング＆現地踏査実施日	開催時刻
No.1	神杉21区	6月16日（水）	9:30～11:00
No.2	布野町戸河内下		14:00～15:30
No.3	三若	6月17日（木）	9:30～11:00
No.4	甲奴町宇賀		14:00～15:30

■実施体制、役割分担の確認
■事業の進め方について
■シカ、イノシシの
　基本的な捕獲手順について

8

【シカ、イノシシの基本的な捕獲技術について（概要）】

■はこわな、囲いわなの捕獲フロー



（1）場所選び
（2）事前の餌付け
（3）わなの設置
（4）エサによる誘引
（5）捕獲開始
（6）殺処分
（7）継続して捕獲又は移設

9

（1）場所選び

ポイント

獲物がたくさんいる場所を見つけること

動物側の都合		人間側の都合
①獲物がよく出る場所 ②山から近い場所	＝	③土地所有者の許可が得られる場所 ④車でのアクセスがよい場所 ⑤設置に適した平坦な場所 ⑥人の出入りが少ない場所

10

11

車道の横断ポイントは、
幹線道路である可能性が大！

12

地形を踏まえた移動ルートの検出

※最も楽に目的地に到達できる最短コースを選択する

13

(2)事前の餌付け

ポイント

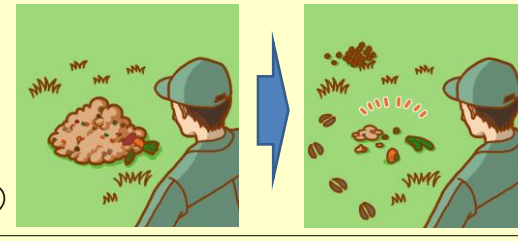
獲物にエサの味を覚えさせること

- 必ず、わな設置前に餌付けを開始する
- いろいろなエサをまいて、エサの好みを調べる
- 3日以上連続してエサが完食されるまで継続する

＜エサの選定条件＞

1. 誘引力
2. 費用
3. 扱いやすさ

（腐りにくく、入手しやすい）



14

（3）わなの設置

ポイント

入りやすいようにわなを置くこと

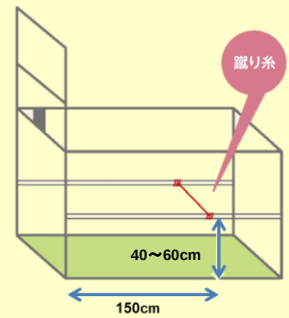
●最も食いがよかった場所とエサを選定

●わなは平らで、周囲の見通しの良い場所に設置

更なる効率UPのために・・・

●扉は固定
あとは捕獲時と同じ状態に
（蹴り糸も最初からセット）

●蹴り糸の奥行きと高さの設定を遵守すること



15

（4）エサによる誘引

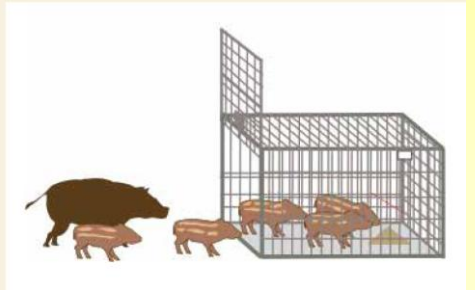
ポイント

獲物にわなをエサ場と認識させること

①獲物をわなに近づける
毎日、欠かさずにエサをまくことが最も重要
②獲物をわなの中に誘い込む
③獲物をわなの奥まで誘い込む

16

誘引初期の様子



比較的警戒心の低い幼獣は早い段階からわな内へ進入するようになるが…

●成獣が十分に餌付くまで、わなは作動させない
●警戒心が高い状態で扉が落ちると捕獲しにくくなる

17

誘引中期の様子

一番奥の餌が完食されるようになれば、準備完了

18

（5）捕獲開始

ポイント

餌付けた獲物を確実に捕獲すること

①餌を外から取られない程度に、なるべく奥の方にまく。
②仕掛けをセットし、スムーズに扉が落ちるか、十分に予行演習をする。

19

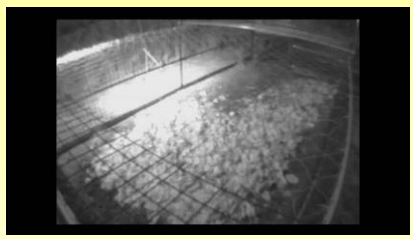
誘引後期（捕獲時）の様子

20

餌付けは、忍耐の勝負！！
手前で食べられるうちは、奥へは入らない

21

ICTの活用により、一網打尽も可能に！



動物は、ただで
わなには入ってくれない

継続的な
餌付け体制が不可欠！

22

成功のカギは餌付けが成功するかどうか

時期や場所によっては、餌付けが難しい場合がある。
- 動物にとってより魅力的な他の餌がたくさんある
- 季節により出没しにくい場合がある
- わなを学習し警戒心が強い獲物がいる

しばらく餌付けをしても、餌が食べられないときは
・餌の種類の工夫　・他の餌（農作物等）の管理
・**場所を変える**　・無理せずしばらく休む　などの工夫を
→他の捕獲手段にシフトするのも効果的！

餌が食べられた時はチャンスなので、
餌を食べさせ続け、警戒心を解き、わなに誘引する。

23

捕れなくなったら、移動することが重要！

24

（3）現地指導の実施（2021年8月3日、4日）

わな番号	集落名	わな種類	指導前の捕獲実績	開催時刻
No.1	神杉21区	箱わな①	イノシシ1頭	9:00～12:00
No.2		箱わな②	0頭	
No.3	三若	箱わな①	0頭	14:00～16:30
No.4	戸河内下	箱わな①	1頭	9:00～12:00
No.5	戸河内下	箱わな②	5頭（2頭逃走）	
No.6	甲奴町宇賀	箱わな	0頭	14:00～16:30

■捕獲の進捗状況の確認
■捕獲成功に向けた
　技術指導、改善提案
■その他、相談対応

25

■ 各わなに対する指導内容

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.1	神杉21区	箱わな①	捕獲完了後、別の動物の誘引は確認されなかったため、痕跡を辿って、わなの移設先を提案した。
No.2		箱わな②	直前までに、小さめのイノシシ1頭がわなの奥まで入るようになっていたため、まずはこの1頭を捕獲完了することを目指して、トリガーをセットすることを提案した。

26

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.3	三若	箱わな	わな設置当初は、順調にイノシシ親子を誘引できていたが、わな奥への誘導に失敗したことで、現地指導時には、ほとんどわな前にイノシシが現れなくなっていた。 このため、効果的なエサの設置方法を指導し、代替の移設候補地を探すよう提案した。

27

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.4	戸河内下	箱わな①	指導日までに扉の動作不良が確認されていたため、トリガーの改良方針などを提案した。
No.5		箱わな②	指導日までに捕獲した幼獣がわなの網目より脱出する事案が発生していたため、トリガーの改良と合わせて、体高により捕獲個体を選別する方法を提案した。

28

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.6	甲奴町宇賀	箱わな	指導日直前に誘引されていたイノシシが、わな前に出没しなくなっていたため、捕獲直前に草刈りなど環境を変えないよう指導した。 併せて、前回指導時に設定したわな設置場所の誘引状況を確認した。 指導日翌日、イノシシの成獣1頭を含む3頭の捕獲に成功した。

29

（4）現地指導の実施（2021年10月6日、7日）

わな番号	集落名	わな種類	指導前の捕獲実績	開催時刻
No.1	神杉21区	箱わな①	イノシシ1頭	-
No.2		箱わな②	イノシシ1頭、シカ1頭	9:00～12:00
No.3	三若	箱わな①	0頭	14:00～16:30
No.4	戸河内下	箱わな①	1頭	9:00～12:00
No.5	戸河内下	箱わな②	5頭（2頭逃走）	
No.6	甲奴町宇賀	箱わな	4頭	14:00～16:30

■捕獲の進捗状況の確認
■捕獲成功に向けた
　技術指導、改善提案
■その他、相談対応

30

■ 各わなに対する指導内容

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.2	神杉21区	箱わな②	トリガーの不具合により、シカが侵入してもわなが作動しなかったとの報告があったため、実際のわなを使って、改善策を指導した。 指導前日にシカ1頭の捕獲には成功していた。

31

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.3	三若	箱わな①	第一回目の現地指導後もイノシシの誘引はうまく進まなかったため、わの移設を決定した。
No.7		箱わな②	事前誘引でシカとイノシシの寄り付きが確認されたわな移設先を踏査した。 現地確認の結果、わなを移設し、残り1ヶ月で捕獲を目指すことを提案した。

32

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.4	戸河内下	箱わな①	8月中旬以降、両箱わなともにイノシシの寄り付きがほぼ途絶えていたことに加え、地域の農繁期に差し掛かったため、本年度の捕獲活動は、ここで休止することとし、本現地指導では、室内で防護対策に対する質疑応答と次年度の活動に向けた意見交換を行った。
No.5		箱わな②	

33

わな番号	集落名	わな種類	計画案
No.6	甲奴町宇賀	箱わな	当地は、捕獲実績も上がっており、適切なわな管理ができていたこと、及び地元からの要望があったことを考慮し、本現地指導では、室内で今年度の振り返りと簡易電気止めさし器の原理や使用上の注意点について解説することとした。

34

■ 各わなの捕獲実績（神杉21区）

わな番号	わな種類	捕獲実績（現地指導前）6/16～10/6	捕獲実績（現地指導後）10/7～10/31	備考
No.1	箱わな	イノシシ1頭	-	移設先の捕獲地点では、誘引できなかった。
No.2	箱わな	イノシシ1頭 シカ1頭	0頭	最終指導後も散発的に映り込みはあったが、捕獲には至らなかった。

【捕獲実績】

35

■ 各わなの捕獲実績（三若地区）

わな番号	わな種類	捕獲実績（現地指導前）6/16～10/6	捕獲実績（現地指導後）10/7～10/31	備考
No.3	箱わな	0頭	-	誘引には成功したものの、わなの奥まで誘引できず、捕獲には至らなかった。
No.7		-	シカ1頭	指導直前にわなを移設。移設後、シカ1頭の捕獲に成功した。
その他		イノシシ3頭		別指導地での捕獲に成功

【捕獲実績】

36

■ 各わなの捕獲実績（戸河内下地区）

わな番号	わな種類	捕獲実績（現地指導前）6/16～10/5	捕獲実績（現地指導後）10/6～10/31	備考
No.4	箱わな	イノシシ1頭	0頭	最初の捕獲後、再誘引には成功したものの、扉の動作不良が重なり、捕獲には至らなかった。
No.5		イノシシ5頭（2頭は逃走）	0頭	群れの誘引に成功したが、わなの動作不良や捕獲後の逃走などがあり、幼獣2頭のみの捕獲となった。
その他		イノシシ2頭	2頭	No.4とNo.5の間に設置

【捕獲実績】

37

■ 各わなの捕獲実績（甲奴町宇賀地区）

わな番号	わな種類	捕獲実績（現地指導前）6/16～10/6	捕獲実績（現地指導後）10/7～10/31	備考
No.6	箱わな	イノシシ5頭	0頭	餌付けを継続し、捕獲を2回実行し、イノシシ4頭の捕獲に成功した。
その他		イノシシ7頭	-	付近の箱わな1基と集落傍の神社境内の箱わな1基で捕獲した。

【指導後の捕獲実績】

38

■ 各わなの総評と次年度に向けた提案

（神杉21区）

わな番号	わな種類	総評と次年度に向けた提案
No.1	箱わな	■捕獲成功まで、捕獲に成功したオスイノシシ1頭以外にも、巨大なオスイノシシ1頭が餌付いていたため、次年度以降、改めて同じ地点で捕獲を継続するか、くくりわな等での捕獲を実施することを提案する。
No.2	箱わな	■ため池下の草地には、大量にシカが出没していたため、エサ資源の少ない冬季に集中的な捕獲を実施し、これらを除去することが望ましい。

【共通の評価】

■毎日欠かさず餌付けができていたことは高く評価できる。

■事前の餌付け、わなの移設もフットワーク軽く動けており、今後の捕獲促進に期待したい。

■今回のわな設置場所以外にもシカやイノシシが渡りとして利用している環境があったため、今後は当該地点での捕獲にも挑戦してほしい。

39

■ 各わなの総評と次年度に向けた提案

（三若地区）

わな番号	わな種類	総評と次年度に向けた提案
No.3	箱わな	■事業開始当初は、十分にイノシシの家族を誘引できていただけに、捕獲を成功させられなかったことが悔やまれる。 ■わな設置場所としては、好適な環境であったことから、次年度以降も、引き続きわなを設置して捕獲を成功させてほしい。
No.7		■結果から、捕獲適期が限られる環境であると推察されることから、次年度以降も同時期にわなを設置すると良いと思われる。

【共通の評価】

■毎日のように丁寧にエサを追加していたことは評価できる。今年度の反省を生かして、わなの奥へと誘導するようなエサやりを心がけてほしい。

■集落内の農地への侵入痕跡も多かったことから、防護柵の設置や管理方法についても周知し、エサ源を断つことで捕獲成功率を上げる対策も実行して欲しい。

40

■ 各わなの総評と次年度に向けた提案

（戸河内下地区）

わな番号	わな種類	総評と次年度に向けた提案
No.4	箱わな	■わなへの誘引は完全に成功していたにも関わらず、僅かイノシシ1頭のみの捕獲にとどまってしまったことは残念である。
No.5		■誘引当初は、大型の個体もわな内でしっかりとエサを食べるようになっていたにも関わらず、これらを捕り逃がしたことは残念である。

【共通の評価】

■毎日のように丁寧にエサを追加していたことは評価できる。今年度の反省を生かして、トリガーの構造やわな作動時のスムーズな扉稼動などを工夫して、大量捕獲へとつなげてほしい。

■手作りわなを活用していることで、市販のわなよりもメンテナンスや補修などに手を掛ける必要があると考える。特に、捕獲の実行の前には、入念に動作確認を行ってほしい。

■ウリ坊のみが入っても確実に捕獲できるよう、目合いも再検討してほしい。

41

■ 各わなの総評と次年度に向けた提案

（甲奴町宇賀地区）

わな番号	わな種類	総評と次年度に向けた提案
No.6	箱わな	■当地区は、捕獲実績も多く、丁寧に餌付けによる誘引ができていると考えられる。 ■一方、わなの移設候補地があまり多くなかったため、次年度以降は、条件の整う場所を中心にエサの設置を行い、捕獲後のわなの移設先を複数確保しておくことが望ましい。 ■また、集落周辺の林内は傾斜地も多かったことから、今後はくくりわなによる捕獲についても技術の普及があると、より強い捕獲圧を掛けられると感じた。

42

■ 各わなの総評と次年度に向けた提案

（全地区共通）

■三次市の稲作地帯では、8月末頃からイノシシやシカのエサに対する関心が低下する傾向があるため、エサを用いた捕獲については、この時期を避けることが望ましい。

※今年度は、西日本全体で同様の傾向が見られたことから、原因はドングリ等の堅果類の豊作にあると推察された。この場合、次年度は堅果類の凶作年にあたる可能性が高いことから、イノシシ等が大量出没する恐れがあり、警戒が必要である。

■今年度は、キチンと誘引できていたにも関わらず、捕獲成功に至らなかったケースが多かった。改めて、捕獲手順やわなの機構を確認し、確実に捕獲を成功させてほしい。

43

ご清聴ありがとうございました

今年度も大変お世話になりました。
事故なく、ルールを守って捕獲活動を続けて
いただければ幸いです。

44